

平成24年度学長裁量経費研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

1. 研究の概要

プロジェクト名	たたら製鉄に纏わる民間伝承をモチーフとした空間造形の研究～英国人彫刻家アンソニー・カロの制作プロセスを参考として		
プロジェクト期間	平成23年度～平成24年度		
申請代表者 (所属講座等)	阿部 守 (美術教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	
取組方法・取組実績の概要	<p>本研究の目的は、『たたら製鉄に纏わる民間伝承をモチーフとした空間造形の研究』というプロジェクト名が示す通り、たたら製鉄に関する民間伝承について、その文化的意義と空間造形のコンセプト作りに繋げることを主眼に研究した。同時に作品制作を通じて空間造形に独自の展開を試みる研究である。</p> <p>前年度は文献調査を中心とした空間造形におけるコンセプト作りと作品創作の2つを柱として研究したが、今年度は前年度を踏まえフィールドワークと制作に重点を置き、島根県吉田村周辺を対象としたリサーチと、そこから得たイメージに基づき、鉄を用いた空間造形の創作研究へと展開した。</p> <p>地形、植生、水の流れ、土壌などすべての要素は常に変化の過程にあって、ランドスケープの状態を特徴づけるコンテキストはどんな平坦な乾いた砂漠のような場所にもいくらかでも隠れている。それらを読み取っていく感性を、「知識と技術」として開発し、実現への橋渡しをするための、社会的道具を提供することが、空間造形・環境芸術・建築さらに産業デザインの基本的な役割である。</p> <p>さらに、英国の鉄彫刻家・アンソニー・カロの古代ギリシャを題材にした彫刻「トロイ戦争」シリーズに制作プロセスに作品制作のひとつの方法を学んだ。</p> <p>また、今日の図工科「造形あそび」の指導内容である<環境・場>と結びついた造形活動に関する教材研究を進めると共に、鉄を素材とするワークショップの方法について実践を通して研究した。</p>		
研究成果の概要	<p>鉄は、21世紀の現在においても先端技術の宝庫といわれているが、たたら製鉄とは我が国古来の製鉄方法であり、その独自性において現在でも技術的に高く評価できる。本研究者は、約40年に亘り鉄を素材に空間造形を行っており、2004年には新日鐵と共同研究で古代製鉄法の研究として、たたら製鉄の実践を行った。</p> <p>1784年に下原重仲によって著された『鉄山秘書』によれば、当時の鉄文化に対する人々の深い信仰・畏敬の念が良く分かる。鉄の文化は天から授かったもの、という捉え方が存在し、そこから多くの伝説や宗教儀式などとして民衆の中に浸透していった。</p> <p>空間を創造する行為とはコンテキストと身体との間に関係性を与える「場所と時間」に対し、材料を選定し、さらに構造化していく作業である。この観点から、鉄を用いた空間造形に結び付けられるイメージを獲得し、創作としての空間造形へ向かう。この一連のプロセスを研究し、客観的に論述することは、次世代に通ずる「空間」及び「もの」の新たな創出に寄与できるものであり、このプロジェクトが、我が国の空間造形にとって新たな地平を切り開くものであると位置づけられる。また、鉄彫刻家として著名なアンソニー・カロに発想から制作に至るプロセスをサンプルとして研究を行った。</p> <p>一方、子どもたちを対象に鉄の制作方法を示し、手を通して素材に関わるワークショップの実践研究に繋げた。これは、大学主催の「Jr.サイエンス&ものづくり」における鍛冶作業であり、参加者に鉄の楽器を制作して貰った。</p> <p>2012年開催の第51回大学美術教育学会・大分大会において「鉄の造形思考」と題し、研究発表を行い、鉄に関する取り組みの造形プロセスを追究した。</p> <p>2年間の主要な制作発表は、23年度「札幌・個展 (TEMPORARY SPACE)」「赤間・LIGHT-YEAR展 (コンビニ空店舗)」「沖縄・DRAWING COMMUNICATION (沖縄県立芸術大学芸術資料館)」「横浜・個展 (爾麗美術)」「東京・文化庁主催 DOMANI展 (国立新美術館)」「札幌・ヌプサムム展 (清華亭)、24年度「横浜・個展 (爾麗美術)」「沖縄・DRAWING COMMUNICATION (沖縄県立芸術大学芸術資料館)」「カトマンズ・KATHMANDU INTERNATIONAL ART FESTIVAL(METRO PARK)」「福岡・福岡市美術館/福岡県立美術館主催 福岡現代美術クロニクル (福岡市美術館)」「福岡・個展 (www.wood gallery)」であった。</p>		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について〔 <input type="checkbox"/> (該当事項) にチェック方願います。〕			
外部資金獲得申請 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 受託研究費 <input type="checkbox"/> その他 ()	研究成果の公表方法 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 学会 (国内・国外) : <input type="checkbox"/> 新聞・図書・雑誌論文等 : <input checked="" type="checkbox"/> その他 :